



取扱説明書

有機 **ミキシングソウ**

RMS204 D



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こす恐れがあります。ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔

目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
安全銘板貼付位置	8
保証とサービスについて	9
各部の名称	10
組立方法	11
スタンドの装着方法	11
トラクタへの装着方法	13
装着前の準備	13
ユニバーサルジョイントの準備	14
日農工標準オートヒッチの場合	16
日農工特殊オートヒッチの場合	18
標準3点リンク仕様の場合	20
電動リモコンシャッターの取り扱い方法	22
1. リモコンシャッターの散布タイプ	23
2. 梱包品の確認と各部の名称と働き	23
3. リモコンと受信機のペア確認	23
4. 取り付け接続方法	24
5. 電源の入れ方	26
6. リモコンの操作方法	28
7. シャッターの調整	29
8. 表示内容と処置	30
9. 作業前点検と作業開始時の注意事項	31
10. 使用上の注意	31
11. 保守管理	31
作業前の調整	32
作業前の注意	34
作業方法	36
混合作業	36
散布作業	37
散布工程	38
散布量の調節	38
保守管理と点検	39
ホッパー内の掃除・洗浄	39
駆動部の点検	40
シャーボルトの交換	42
シャッターの点検	44
灯火器について	45
トラブルの原因と処理方法	46
主要諸元	47
付属品	47

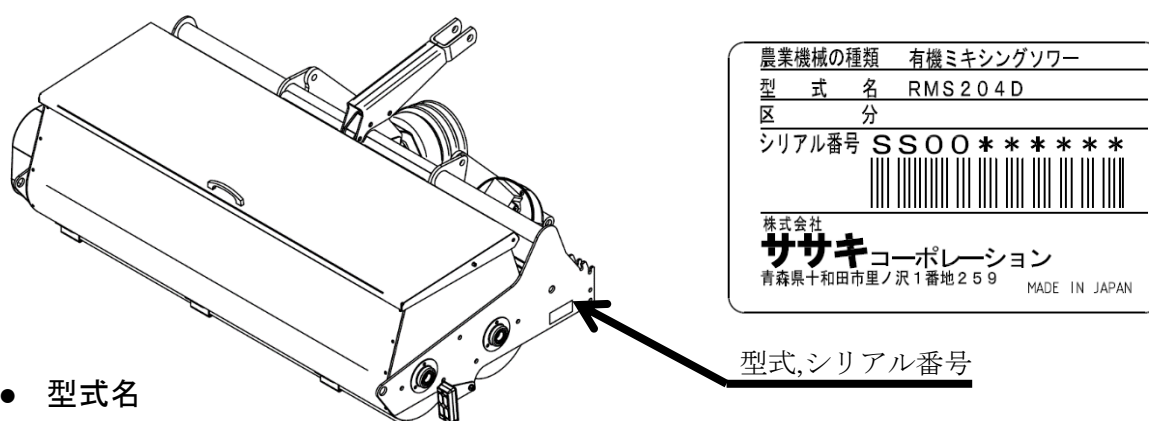
保証とサービスについて

◎ 保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

◎ アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点等不具合がある場合は、お買い上げいただいた
販売店等へご相談ください。その際、次のことをご連絡ください。



- 型式名
- シリアル番号
- 不具合状況(どのような現象ですか?…)
- ご使用状況(どのくらい作業していましたか?…)
- 不具合が発生した時の状況(どんな作業をしていた時に?…)

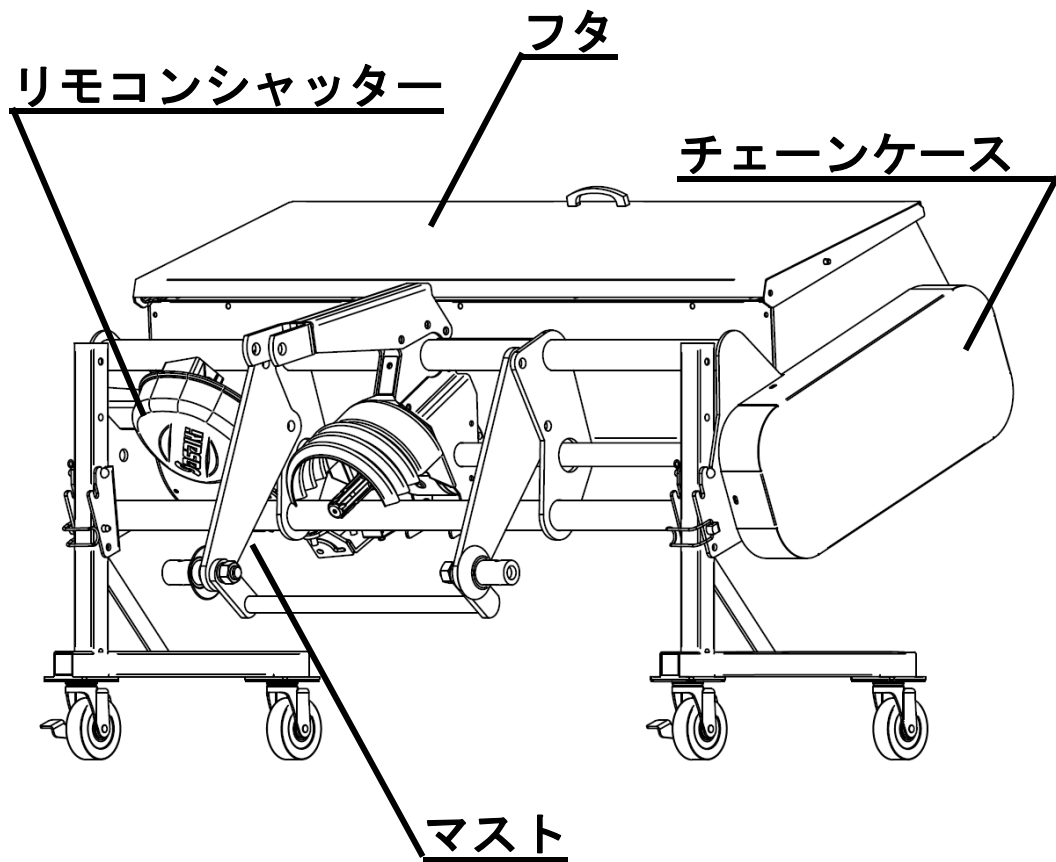
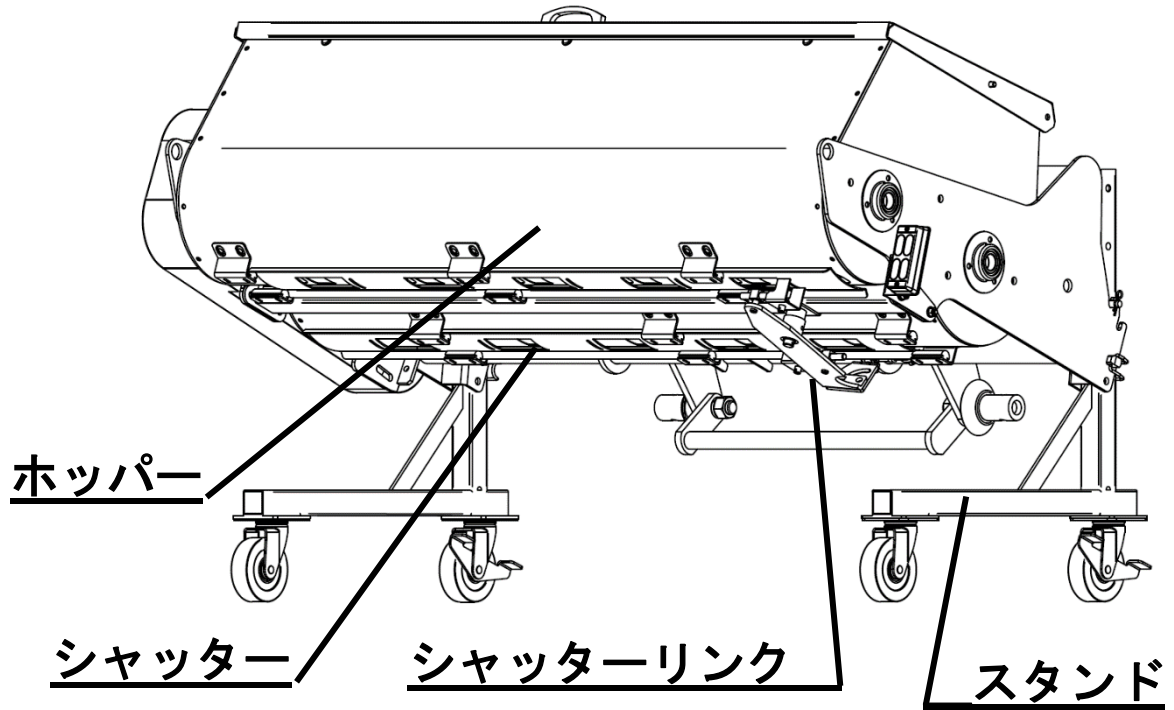
◎ 補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期等をご相談させていただく場合もあります。

重要

- 機械の改造は危険ですので改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合はメーカー保証の対象外になりますので注意してください。
- 電動リモコンシャッターの「リモコンシャッター本体」「制御ボックス」「コントローラー」「配線類」は分解及び改造しないでください。危険であり又、メーカー保証の対象外になりますので注意してください。

各部の名称



組立方法

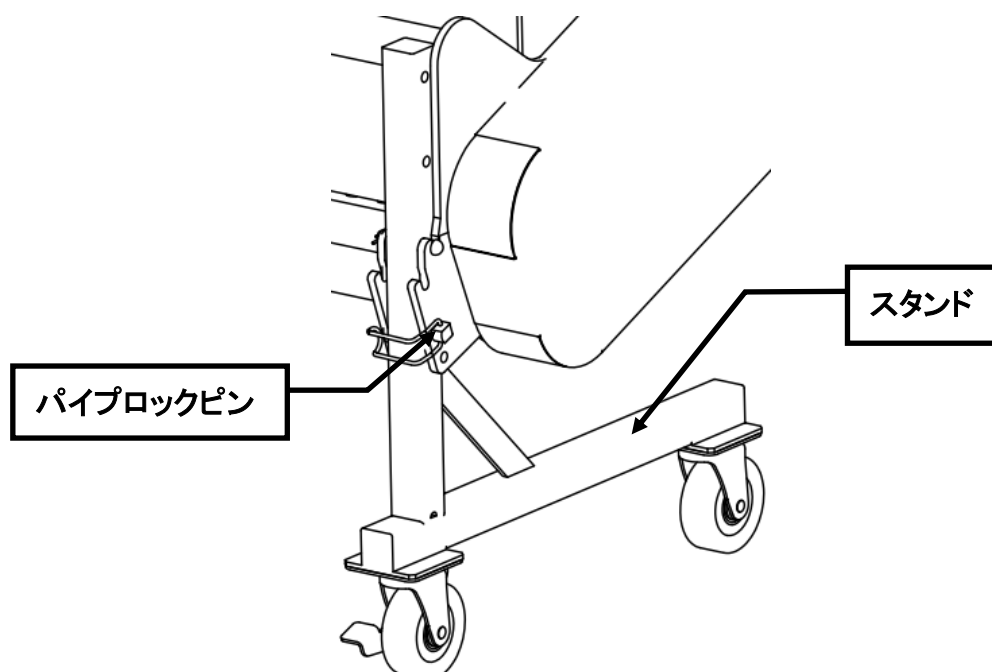
本機は、ほとんど組み上がった状態で出荷されますが、梱包枠から外しスタンドを取り付けてください。
本機、スタンド及びその他付属品類を固定している番線等を取り除いてください。
トラクタの油圧昇降装置で本機を吊り上げ、スタンドを所定の位置に装着してください。

⚠ 警告

- ◆ 組立場所は平坦で十分な広さがあり、地盤がしっかりした場所で行ってください。守らないと作業機が動いて死傷事故を起こす恐れがあります。
- ◆ 吊り上げた機械の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。落下して死傷事故を起こす恐れがあります。近寄る時は、落下の危険を考慮して逃げ場所を確保してください。
- ◆ 梱包を解体するときは、手・足・顔等をケガしないように注意してください。
- ◆ 2人以上で作業する時は、お互いに合図をし、確認しあって作業してください。守らないと死傷事故を起こす恐れがあります。

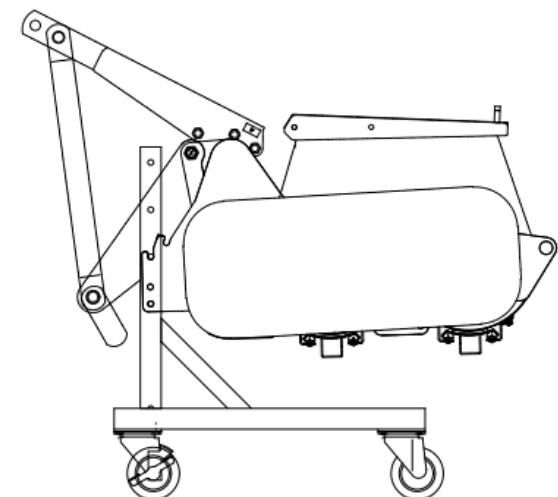
○ スタンドの装着方法

1. 梱包枠から本機を外したら、下図のようにスタンドパイプにスタンドを取り付けてください。
(取り付けたらパイプロックピンで確実に固定してください)

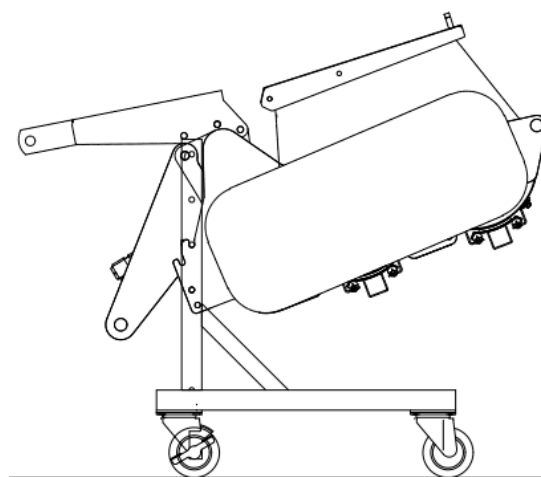


2. スタンド装着後、トラクタへ装着方式に合わせて、スタンド取り付け位置を合わせてください。
又、着脱できない場合は、スタンドパイプの固定ピンの穴位置を変えて脱着がスムーズに出来ることを確認してください。

日農工標準 3P リンク(直装)の場合



日農工規格オートヒッチの場合



3. 着脱姿勢について

本機を少し持ち上げ、左右水平になるようにトラクタ右側のリフトロッド長さを調節してください。

トラクタへの装着方法

○装着前の準備

警告

作業中にボルト・ナット・ピン類が外れますと、作業機の破損ばかりかトラクタの破損、人身事故につながる恐れがあります。

- (1) ボルト・ナットの緩みやピン類の脱落がないか確認して下さい。

警告

- ◆ 適応馬力の範囲内で使用してください。適応範囲内のトラクタでも発進時、登坂時、トラクタの前輪が浮き上がる場合は、必ずフロントウエイトを取り付けてください。
- ◆ 作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。守らないと作業機が動いて死傷事故を起こす恐れがあります。
- ◆ 作業機の下に潜ったり、足を入れたりしないでください。また、作業機とトラクタの間に入らないで下さい。挟まれて死傷する恐れがあります。

- (2) 作業機を装着すると機体の長さ、幅が大きくなり重量バランスが変わりますので、必要に応じてフロントウエイトを取り付けてください。

- (3) ユニバーサルジョイントの確認

ユニバーサルジョイント(以下ジョイント)の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は切断し使用してください。

○ユニバーサルジョイントの準備

トラクタによってユニバーサルジョイント(以下「ジョイント」)の長さが合わない場合があります。長すぎるジョイントを装着すると、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸を付き破損させます。

又、短すぎるとかみあい不足し、チューブが破損したり、ジョイントが抜けたりして思わぬ事故につながります。

付属のジョイントが長い場合がありますので、切断方法に従い切断してください。

⚠ 危険

ジョイントの取り付け時は必ずエンジンを切ってください。さもないと巻込まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

⚠ 警告

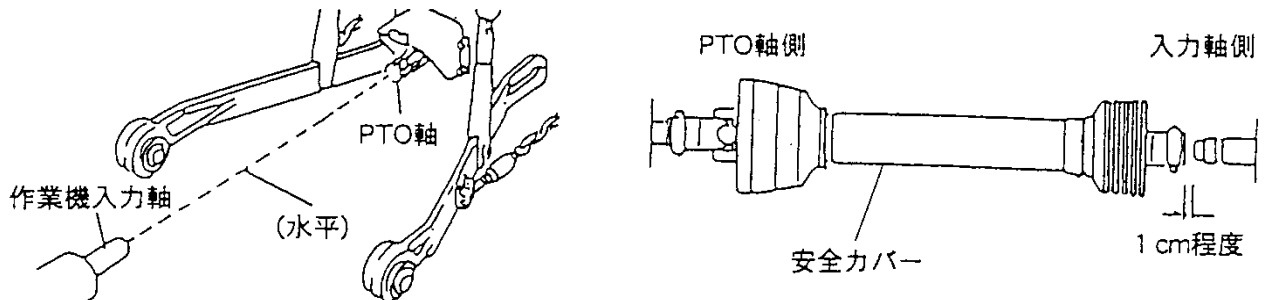
2人以上で作業するときは、お互いに合図をし、確認し合って作業してください。特にトラクタのエンジンをかける場合や、エンジンが作動している間は十分に注意してください。守らないと死傷事故を起こす恐れがあります。装着時はトラクタのPTO変速を中立にしてください。

⚠ 注意

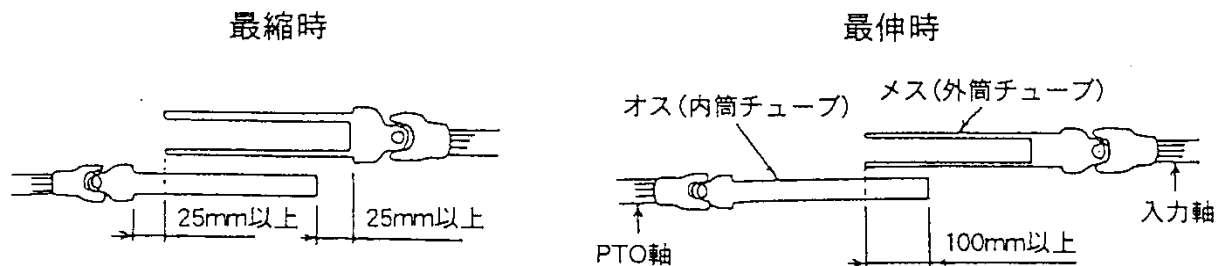
装着時はトラクタのPTO変速を中立にしてください。

①適正長さの確認

トラクタPTO軸と作業機の入力軸が水平で一直線上にある時が、ジョイントが一番短くなる時です。この時に1cm程度スキマがあればそのまま使用できます。



また、ジョイントのオス・メスを外してそれぞれPTO軸と入力軸を取り付け、水平で一直線上にあるとき(最縮時)に下図のスキマが25mm以上あり、作業機を上下させてジョイントが一番伸びた時(最伸時)にオス・メスの重なりが100mm以上あると適性長さの範囲です。



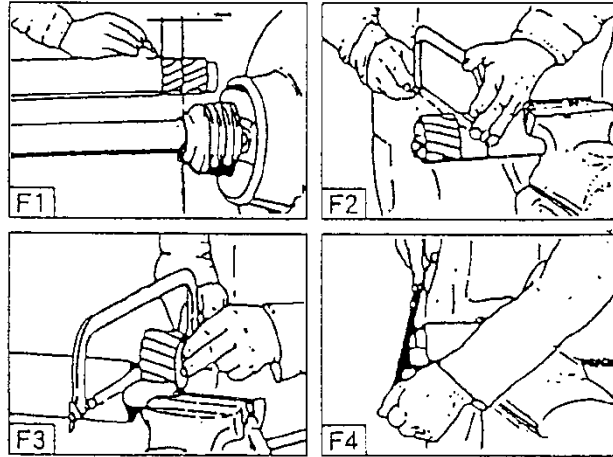
②切断方法

(F1) ジョイントのオス・メスを外してトラクタと作業機の最短の作業位置に合わせ、相手側の安全カバーの筒の端から、25mmスキマがあく位置にオス・メスの安全カバーにそれぞれマークをつけて下さい。

(F2) オス・メスの安全カバーにマークをした長さだけ安全カバーを切断して下さい。

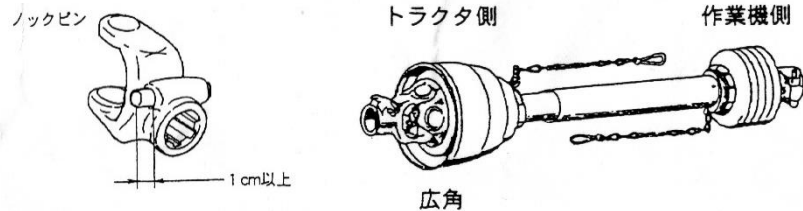
(F3) オス・メスの内外筒チューブを、安全カバーを切断した部分と同じ長さだけ切断して下さい。

(F4) 切断後は切り口にヤスリを掛け、バリを除きスムーズにスライドできるようにして下さい。



③装着方法

本機がトラクタに装着された後、エンジンを停止し、ユニバーサルジョイントを装着して下さい。ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めします。広角側をトラクタPTO軸に取り付けて下さい。トラクタ側、作業機側ともにジョイントのノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認して下さい。ノックピンの頭が1cm以上出ていることを確認して下さい。広角側を作業機側に取り付けるとジョイントを破損する恐れがあります。



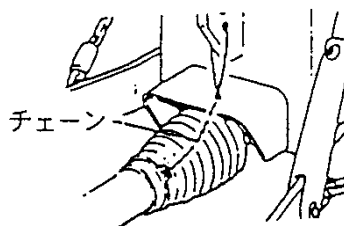
⚠ 危険

ジョイントの取り付け時は必ずエンジンを切ってください。さもないと巻込まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

⚠ 注意

装着時はトラクタのPTO変速を中立にしてください。

ユニバーサルジョイントのチェーンをトラクタと作業機に取り付け、安全カバーの回り止めをしてください。



○日農工標準オートヒッチの場合

お買い上げいただいた製品が、日農工標準オートヒッチ規格（0S・3S・4S）の場合は、標準3点リンクに標準オートヒッチを付けて装着してください。その際は、標準3点リンク用の長いトップリンクをご使用の上、リフトロッドの位置はロワリンクの作業機用の穴位置を使用してください。

1. 装着方法

⚠ 危険

ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

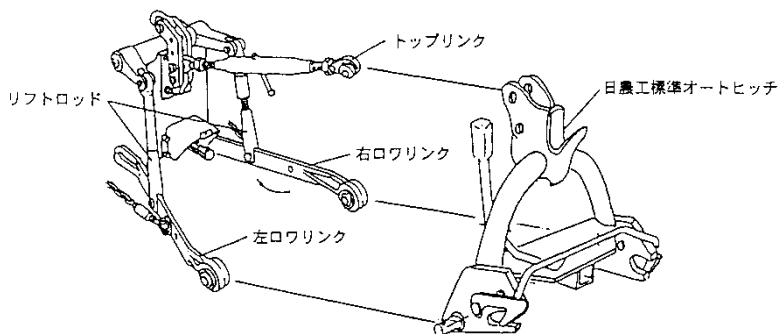
⚠ 警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

- ◆ 周りに人や障害物がない事を確認してから作業してください。
- ◆ 作業機脱着時3点リンクの上げ、下げをゆっくり行ってください。急激な上げ、下げは危険です。また、破損する場合があります。
- ◆ ジョイントは確実にセットしてください。ノックピンが確実に入りロックしたことを確認してください。中途半端ですと回転中に抜ける恐れがあります。大変危険ですからノックピンの頭が1 cm以上出ていることを確認してください。

1. 標準オートヒッチをトラクタの3点リンクに、左ロワリンク、右ロワリンク、トップリンクの順に取り付けてください。



2. 4Sの場合は、ユニバーサルジョイントを取り付けてください。広角側をトラクタのPTO軸に取り付けてください。

4Sジョイント/4Lジョイント



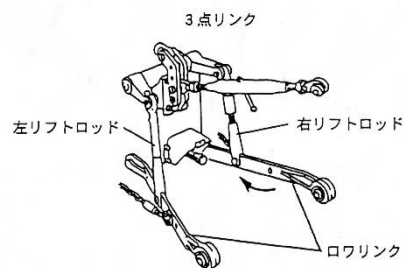
広角側をトラクタPTO軸へ

標準側をオートヒッチへ

3. 周りに人や動物、障害物がないことを確認してから、エンジンをかけトラクタの3点リンクを油圧で下げて、本機のマストに向かってトラクタを静かに後退させてください。



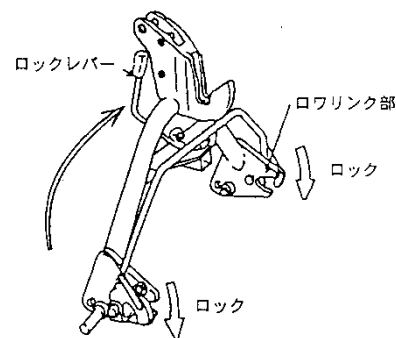
- 標準オートヒッチのフック部で本機マストピンを下からすくい上げるよう油圧レバーをゆっくり操作し、静かに持ち上げると左右のロワリンクも自動的に装着されます。この時、本機が左右に傾いている場合はトラクタの右側のリフトロッドを伸ばし、本機の傾きに合わせてから装着してください。



※フック部ですくえない場合や、ジョイントが入らない場合はやり直してください。

※フック部の下がり量が不足する場合は、リフトロッドの取り付け穴位置をロワリンク前側の穴に変えてください。

- 標準オートヒッチのロックレバーを操作し、ロックを掛けてください。
- 移動及び作業時には、エンジンを停止させてからスタンドを取り外してください。



2. 取り外し方



危険

ユニバーサルジョイントを取り外すときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。



警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



注意

周りに人や障害物がないことを確認してから行ってください。

- エンジンを始動させ油圧レバーで3点リンクをゆっくり上げて、左右のスタンドを取り付けてください。
- 3Sの場合は、エンジンを停止し、ユニバーサルジョイントを外してください。
- オートヒッチのロックレバーを下げ、ロックを解除してください。
- トラクタのエンジンを始動させ、油圧レバーで3点リンクをゆっくり下げ、本機の左右のスタンドが地面についたら、さらに油圧レバーをゆっくり下げながらトラクタを前進させ、本機から離れてください。

○日農工特殊オートヒッチの場合

お買い上げいただいた製品が、日農工特殊オートヒッチ規格の場合は、各トラクタのロータリーの取扱説明書の装着に関する事項をご覧ください。

日農工の特殊オートヒッチ規格には、A1型・A2型・B型がありますが、それぞれトラクタの純正ロータリーと同様の手順で、本機の取り付け、取り外しができます。また、純正ロータリーに装着しているオートヒッチ、ジョイント及びトップリンクがそのまま使えます。

注意

オートヒッチの使用方法はロータリーと同様ですのでトラクタ及びロータリーの取扱説明書をお読みください。

1. 装着方法

警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- ◆ 周りに人や障害物がない事を確認してから作業してください。
- ◆ 作業機脱着時3点リンクの上げ、下げをゆっくり行ってください。急激な上げ、下げは危険です。また、破損する場合があります。

1. オートヒッチの装着が純正ロータリーと同じ位置にあることを確認してください。
(ロワリンク、リフトロッド、トップリンク、ジョイント)
2. 周りに人や動物、障害物がないことを確認してから、エンジンをかけトラクタの3点リンクを油圧で下げて、本機のマストに向かってトラクタを静かに後退させてください。
3. オートヒッチのフック部で本機マストピンを下からすくい上げるよう油圧レバーをゆっくり操作し、静かに持ち上げると左右のロワリンクも自動的に装着されます。この時、本機が左右に傾いている場合はトラクタの右側のリフトロッドを伸ばし、本機の傾きに合わせてから装着してください。フック部ですくえない場合や、ジョイントが入らない場合は、やりなおしてください。
4. ロックレバーを操作し、ロックをしてください。
5. 移動及び作業時には、エンジンを停止させてからスタンドを取り外してください。

2. 取り外し方



警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



注意

周りに人や障害物がないことを確認してから行ってください。

1. 左右のスタンドを取り付けてください。
2. オートヒッチロックを解除してください。
3. トラクタのエンジンを始動させ、油圧レバーで3点リンクをゆっくり下げ、本機の左右のスタンドが地面についたら、さらに油圧レバーをゆっくり下げながらトラクタを前進させ、本機から離れてください。

○標準 3 点リンク仕様の場合

お買い上げいただいた製品が、標準 3 点リンク装着タイプの場合、次の手順で装着してください。

1. 装着方法

危険

ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに
合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- ◆ 周りに人や障害物がない事を確認してから作業してください。
- ◆ 作業機脱着時 3 点リンクの上げ、下げをゆっくり行ってください。急激な上げ、下げは危険
です。また、破損する場合があります。
- ◆ ジョイントは確実にセットしてください。ノックピンが確実に入りロックしたことを確認して
ください。中途半端ですと回転中に抜ける恐れがあります。大変危険ですからノックピンの
頭が 1 cm 以上出ていることを確認してください。

1. 周りに人や動物、障害物がないことを確認してから、エンジンを始動させ油圧レバーを
操作し、トラクタロワリンクを本機ロワリンクピンの高さに合わせてください。
2. 左トラクタロワリンクを本機ロワリンクピンにセットし、リンチピンで抜け止めをしてくだ
さい。
3. 右トラクタロワリンクをレベルハンドルまたは、リフトシリンダを調整しながらセットし、
リンチピンで抜け止めをしてください。
4. トップリンクの長さを調整しながらセットし、リンチピンで抜け止めをしてください。
5. ユニバーサルジョイントの広角側をトラクタ側になるよう装着してください。
トラクタ側、作業機側ともにジョイントが正確に軸溝にはまっているか確認してください。
ノックピンの頭が 1 cm 以上出ていることを確認してください。
ユニバーサルジョイントの長さはトラクタの機種により異なりますので、必ず適正な長さの
ものを装着してください。装着してください。
6. ユニバーサルジョイントのチェーンをトラクタと作業機に取り付け、安全カバーの回り止め
をしてください。

7. 移動及び作業時には、エンジンを停止させてからスタンドを取り外してください。
8. 本機を少し持ち上げP T O軸、ユニバーサルジョイント、入力軸がトラクタの中心線上になるように、チェックチェーンを左右均等に張ってください。
その後、チェックチェーンのターンバックルを0. 5～1回転戻し、ロックしてください。

2. 取り外し方

危険

ユニバーサルジョイントを取り外すときは、必ずエンジンを停止してください。
守らないと巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

警告

着脱作業するときは、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業するときは、お互いに合図しあって作業してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

周りに人や障害物がないことを確認してから行ってください。

1. 左右のスタンドを取り付けてください。
2. トラクタのエンジンを始動させ、油圧レバーを操作し、本機の左右のスタンドが地面につくまで3点リンクをゆっくり下げてください。
3. スタンドのキャスターがすべて地面に着くまでトップリnkを調整してください。(場合によっては、右ロワリンクをレベリングハンドルまたは、リフトシリンダを調整してください)
トラクターから降りる時は、必ずエンジンを停止し駐車ブレーキをかけてください。
4. エンジンを停止し、ユニバーサルジョイントを外してください。
5. トップリnk、ロワリンクの順で外してください。

電動リモコンシャッターの取り扱い方法

注意

I. 無線装置全般

- ◆ 無線装置は、日本国内の電波法に基づいて製作されております。日本国内でしか使用できません。
- ◆ リモコンと受信機は、分解、改造、異なった用途では使用しないでください。正常な動作及び安全を保障できません。
- ◆ リモコンと受信機を使用中に、煙が出たり、異臭がしたり、操作と異なる動作をした場合、変形・割れがある場合は、使用を中止し販売店へご連絡ください。
- ◆ リモコン及び受信機を金属で覆ったり遮ったり、また塗装したりしないでください。電波が届きにくくなります。
- ◆ 受信機はカバーで覆われています。カバーを外した状態での洗浄は行わないでください。故障の原因になります。

II. リモコン

- ◆ リモコンをトラクタ内に放置しないでください。転がってペダルの下へ入り込むと、運転操作を妨げ危険です。
- ◆ リモコンは、子供の手の届かない場所へ保管してください。
- ◆ 精密部品ですので、落としたり、挟んだり、激しい振動を与えないでください。
- ◆ 樹脂部品のため、ガソリン、灯油、シンナーなどの溶剤をつけないでください。割れたり、溶けたりします。
- ◆ 水、洗浄機で洗ったりしないでください。水に落とした場合は、ただちに拾い乾いた布で拭き、よく乾かしてください。
- ◆ 磁気を帯びたキーホルダーつけたり、金属系のシールなどを貼付けないでください。電波が飛びにくくなることがあります。
- ◆ 長期間使用しない場合は、リモコンの電池を抜き、直射日光や高温になる場所、水のかかる場所を避けて、保管してください。電池の液漏れやリモコンの防水性が低下し、故障の原因になります。
- ◆ 直射日光の当たるトラクタのキャビン内は高温になるので、放置しないでください。リモコンの変形などの原因になり、防水性の低下や故障の原因になります。
- ◆ 電池の寿命は連続使用で約20時間です。（アルカリ電池単三2本）ただし、使用頻度や環境条件によって、使用時間は変化します。安定した作業のために、電池残量表示を確認し、こまめに電池交換をお勧めします。
- ◆ 電源スイッチを押して、電池残量表示が少ない時や、電源ランプが点滅する場合は、電池が消耗していますので、電池を交換してください。

1. リモコンシャッターの散布タイプ

・ 開度設定タイプ

シャッター開き量の段数(開度)を設定し、シャッターの開閉を行います。

施肥機それぞれに散布量とシャッター開度を対応させた散布表が貼られていますのでシャッター開度設定し散布作業を行ってください。

2. 梱包品の確認と各部の名称と働き

⚠ 注意

コントローラーは精密電子機器が入っていますので絶対に開けたりしないでください。



梱包内部品

- 1: 無線リモコン シャッターを動作させるリモコンです。
 - 2: シャッター電源ハーネス 作業機側シャッター部へ電源を供給します。
 - 3: バッテリー電源ハーネス トラクターバッテリーからの電源線です。
- 付属品； 取扱説明書、ハーネス結束用バンド、リモコン用電池（単三2本）、ストラップ

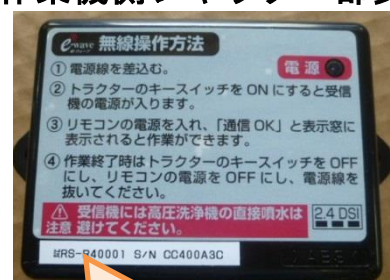
3. リモコンと受信機のペア確認

リモコン裏側



リモコンシリアル番号

作業機側シャッター一部受信機



受信機シリアル番号

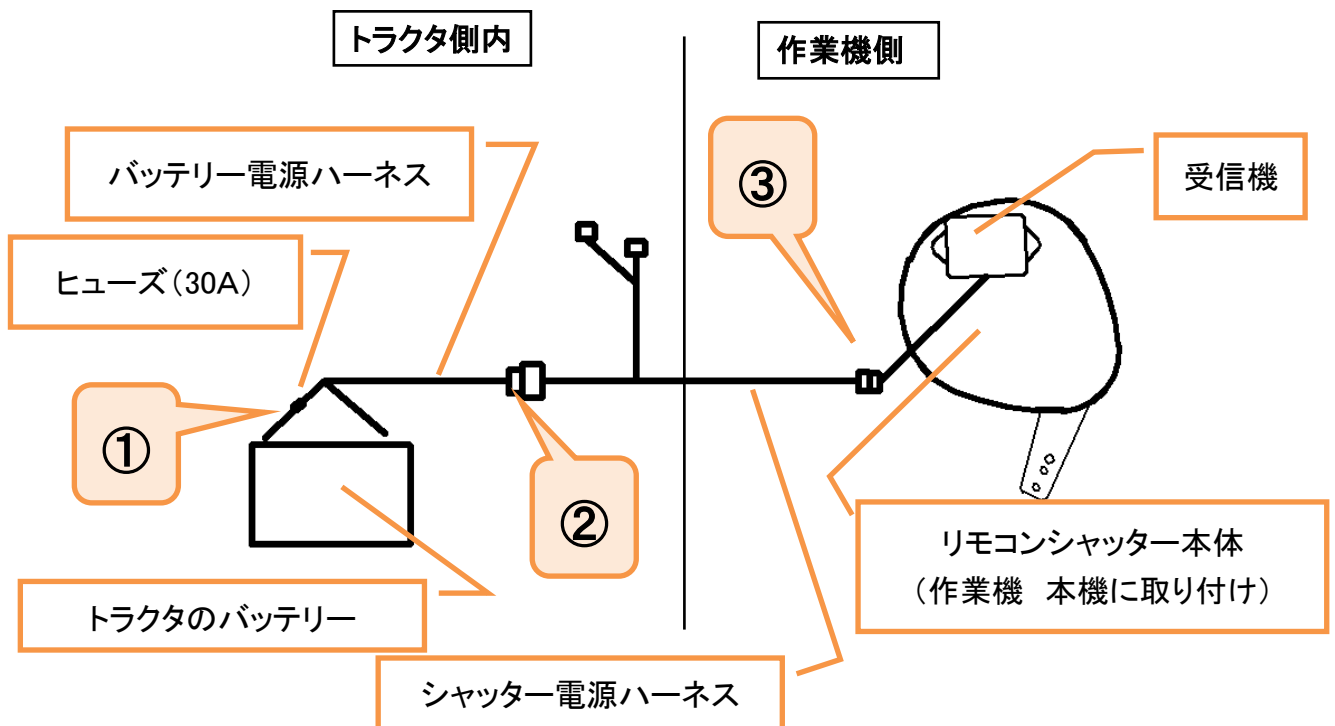
- ・リモコンと受信機のシリアル番号が同じ番号であればペアです。
- 違う番号の物では動作しません。

4. 取り付け接続方法

⚠ 注意

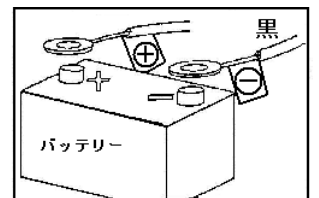
- ◆ 本製品の作動電源はバッテリーDC12Vです。その他の電源に接続すると破損します。
- ◆ バッテリー電圧が不足していると作動しない場合があります。充電はしっかりと行ってください。
- ◆ バッテリーの+と-を必ず確認してから接続してください。誤って接続すると電子部品の故障の原因になりますので注意してください。
- ◆ 本製品の所要電流は10～20アンペアです。
- ◆ コネクタの差し方は差し込める位置が限定されています、形状を良く見てカチッと音が鳴るまで差し込んでください。

※下図の番号の順に各コネクタを接続してください。

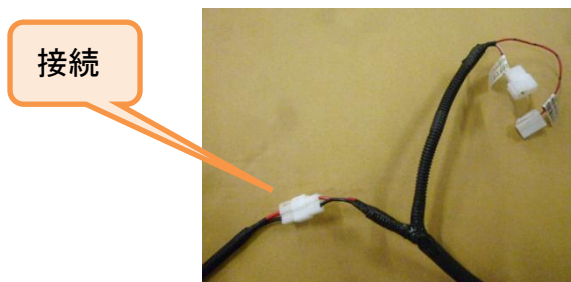


- ① バッテリー電源ハーネスとトラクタのバッテリーを接続してください。
(+と表示されているコードを+へと表示されているコードを-へそれぞれ接続してください)

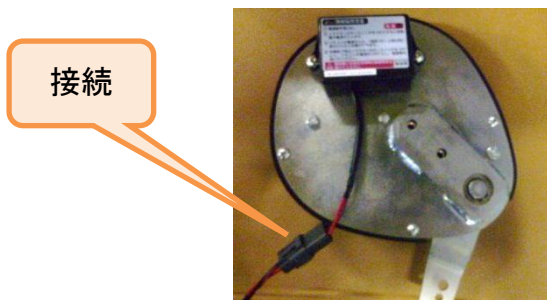
※トラクタのバッテリー以外には接続しないでください



- ② バッテリー電源ハーネスとシャッター電源ハーネスを接続してください。



③シャッター電源ハーネスと受信機を接続してください。

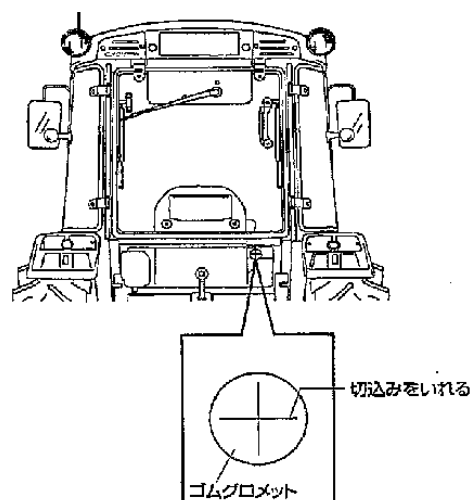


重要

シャッター電源ハーネスをトラクターキャビンから出す場合、キャビン後のゴムグロメットにカッターナイフで切込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。

⚠ 注意

ゴムグロメットを外して通すと、ハーネスに傷がつき
思わぬ事故をおこす恐れがあります。



配線接続が終了したら、付属のバンドで配線を固定してください。

5. 電源の入れ方

1)リモコンに電池を入れる

⚠ 注意

- ◆ 濡れた手で行わないでください。基盤破損の原因になります。
- ◆ 電池の+と-の極性を確かめてから入れてください。間違えると電源がオンできません。

①電池フタのネジを+ドライバーを使って緩める。2本あります。



②電池を入れフタを閉じ、ネジを+ドライバーを使って締める。



重要

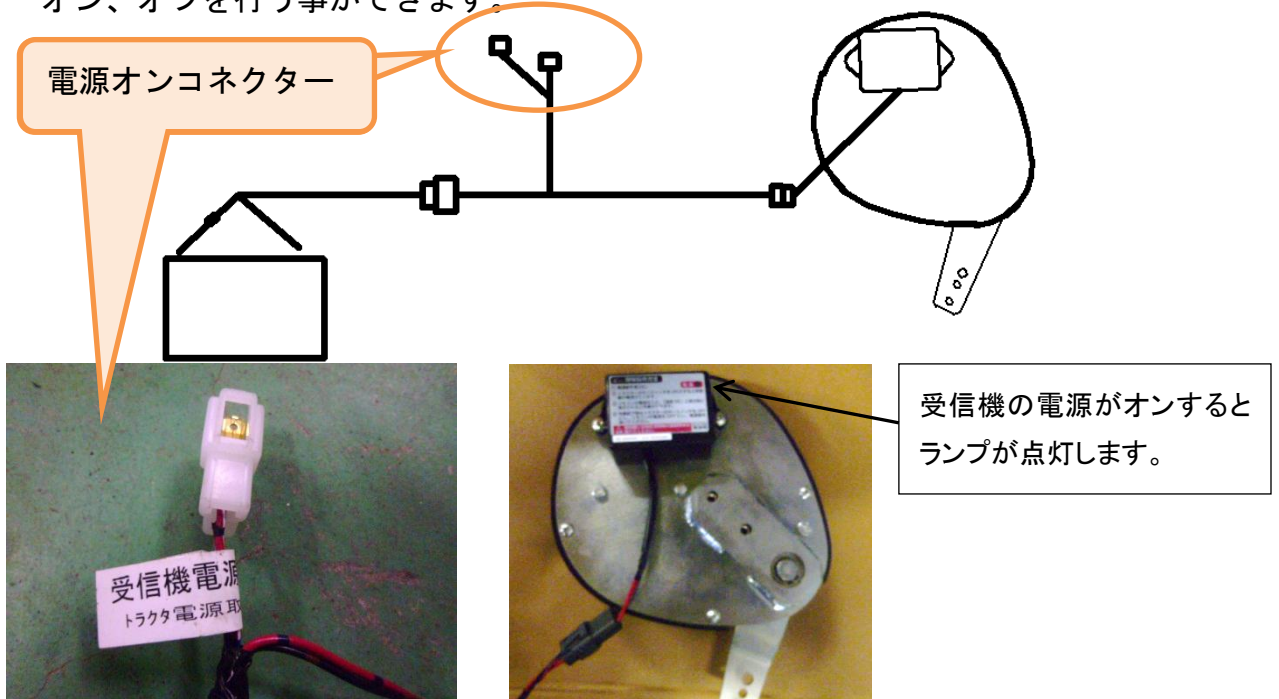
電池交換について

- 電池は以下のことに気をつけて、使用してください。
 - 1) 新しいものと古いものとの組合せをしない。
 - 2) 種類の異なるものを入れない。
- 液漏れ、破裂を起こすおそれがあり、故障やケガの原因になります。液漏れの液が体に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師へ相談し処置してください。
- 濡れた手で交換作業は行わないでください。基盤破損の原因になります。
- 電池の極性を間違えて装着しても故障はしませんが、電源が入りません。再度、確認し装着し直してください。
- 電池フタを開けた場合は、ネジをしっかりと締めてください。緩んでいる状態ですと、防水効果が、損なわれます。
- リモコンを水の中に落とした場合や、水がかかった場合は、電池フタを開け、内部を確認し、水が入っていたら拭きとってください。電池フタにパッキンの破損、変形、キズがあった場合は、交換してください。水やホコリが入り故障の原因になります。

2) 施肥機側リモコンシャッター本体の受信機に電源を入れる。

リモコンと受信機は必ずペアの物を使用してください。別の受信機や別のリモコンだと動作しません。

1. トラクタに電源取り出しがある場合は下図の電源オンコネクターを電源取り出しへ差し込んでください。トラクタの電源オン、オフに連動して受信機の電源がオン、オフを行う事ができます。



2. トラクタに電源取り出しが無い場合は下図の様に接続してください。電源オン、オフは手動になります。トラクタとは連動しません。

電源オン	電源オフ
コネクターを差し込む。	コネクターを抜く。

3. リモコンの電源をオンする前に、必ず受信機の電源をオンしてください。

受信機の電源がオフで

リモコンの電源をオンすると

受信機ON?

表示になります。

3) リモコンの電源を入れる。



電源スイッチを押して電源オン、もう一回押して電源オフ。

受信機ON?

右の表示の場合は、下表を参考し再度電源オンしてください。

<p>① 受信機がオンされていない。</p>	<p>② 無線電波が届いていない。</p>	<p>③ リモコンと受信機がペアでない</p>
<ul style="list-style-type: none"> 受信機電源をオンしてからリモコン電源をオンする。 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンを施肥機に向けて操作する。 受信機電源を再度オンして、リモコン電源も再度オンしてください、電波良好チャンネルを自動選局します。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの物を使用する リモコンを部品で購入時はペアリング作業が必要です。購入の販売店へ連絡してください。

6. リモコンの操作方法

1) リモコンスイッチの説明



電源スイッチ；電源を入/切りします。

表示部；操作に従った表示が出ます。

出スイッチ；シャッターを開きます。

止スイッチ；シャッターを閉じます。

増スイッチ；開度設定を増加させます。

減スイッチ；開度設定を減少させます。

2) リモコン操作方法と表示

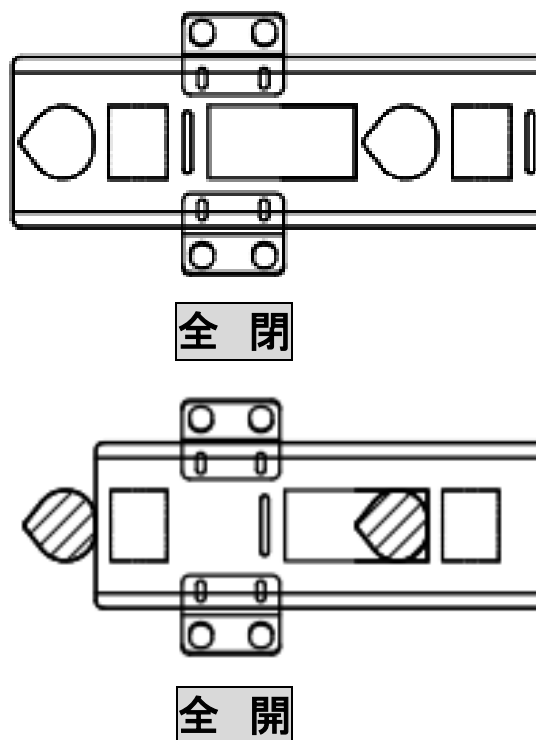
<p>① 電源スイッチを押す。</p>	<p>② 増、減スイッチを押して設定したいシャッター開度に合わせる。</p>	<p>③ 出スイッチを押すと、シャッターが開く。</p>	<p>④ 止スイッチを押すとシャッターが閉じる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>開度設定 ■■■ シャッター</p> </div> <p>■■■は電池残量です。 □□□の時は電池交換してください。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>開度 05 停止</p> </div> <p>・増を押すと開度が1ずつ増えます。 ・減を押すと開度が1ずつ減ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>開度 05 散布</p> </div> <p>散布に変わりシャッターが開きます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>開度 06 停止</p> </div> <p>現在の開度を記憶します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>シャッター開です 止押す</p> </div> <p>シャッターが開いていると表示します、止スイッチを押すと閉じます。</p>	<p>シャッター開度調整 0～20段階</p>	<p>散布中でも増、減を押すとシャッター開度を変える事ができます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>開度 06 散布</p> </div>	

7. シャッターの調整

「6. リモコンの操作方法」の項を参照しシャッターの開閉位置を確認して下さい。

※「全閉」の時 : シャッターが完全に閉じている事

※「全開」(開度20)の時 : シャッターが完全に開いている事

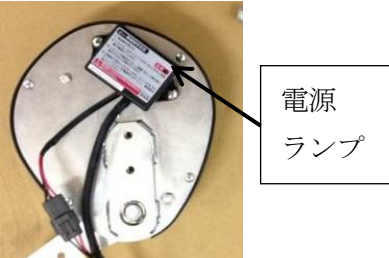


8. 表示内容と処置

表示部に以下が表示された場合は、内容に応じた処置を行ってください。

※処置後は受信機電源を再度オンしリモコン電源も再度オンしてください。

異常が解消されると正常に動作します。

表示内容	症状	処置
受信機ON?	<ul style="list-style-type: none"> 受信機の電源がオフで電源ランプが点灯していない。 	<ul style="list-style-type: none"> トラクタのキースイッチをONする。 コネクタ類が抜けている。組付け要領を参照しコネクタ接続を再確認する。 端子部腐食の可能性があります。接点復活剤等を塗布して、動作確認する。 バッテリー接続部のヒューズ切れや腐食の可能性があります、確認し交換する。 電装品トラブル、販売店に連絡する。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプは点灯している。 	
シャッター開です 止押す	シャッターが全閉まで閉じていない。	<ul style="list-style-type: none"> 止スイッチを押す。 シャッターが全閉位置まで閉じます。
開 異常	シャッター動作中の過負荷でモータがロックした。	<ul style="list-style-type: none"> シャッターアーム連結部を外して動作させ、動く場合は、シャッター部に異物等詰まっていないか確認し、掃除する。 5分間ほど休ませてモータを冷却させる。 電装品トラブル、販売店に連絡する。
閉 異常		
シャッター 異常	施肥機側リモコンシャッター本体内のセンサートラブル。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店に連絡する。

9. 作業前点検と作業開始時の注意事項

①ヒューズの点検

本品には、主電源の保護用ヒューズが入っています。切れていると電源が入りませんので作業前に点検し、切れているときは、新しい物に交換してください。(自動車ヒューズ30A)

⚠ 注意

ヒューズが切れた場合は、針金や銀紙などで代用せず必ず同容量のヒューズと交換してください。又、バッテリー電源との+と-の接続を再度確認してください。

②各施肥機の作業前点検を行ってください。(機の取扱説明書参照)

10. 使用上の注意

次のような場所でのリモコンの使用及び保管は避けてください。

- 雨の当たる場所、湿気やゴミ、ホコリの多い場所
- 直射日光の当たる所や高温になる所、極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 油煙や湯気の当たる所
- 強い磁場の発生する所(モータ、トランス、磁石のそばなど)

11. 保守管理

⚠ 注意

リモコン、受信機は多くの電子部品を使用していますので水濡れ厳禁です。雨ざらし、洗浄機や水道ホース等での直接の水洗いはしないでください。

1.作業シーズン中の保守管理

- ①作業終はリモコン、受信機の電源を必ずオフしてください。
- ②配線関係を確認し断線やコネクタ抜けがないか点検してください。

2.作業シーズン終了後の保守管理

- ①施肥機を外す場合は必ずシャッター電源ハーネスと受信機の接続を抜いてください。抜いたシャッター電源ハーネスはトラクターキャビン内に引き入れてください。

必ず抜いてください。



- ②格納する場合は湿気やホコリのない場所に保管してください。

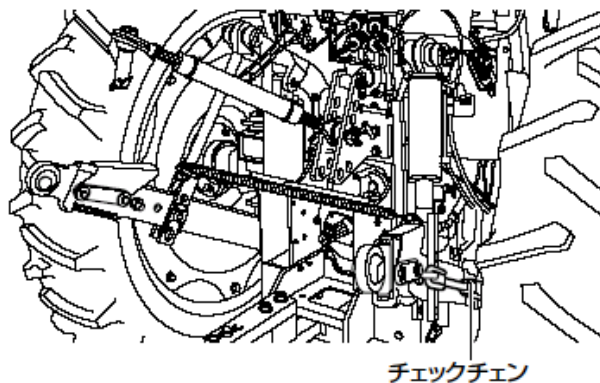
湿気の多い所や屋外に置いておきますと、結露等で電子部品が故障する場合があります。

作業前の調整

トラクタに本機を装着した後、次の調整を行ってください。

1 チェックチェーンの調整

本機を少し持ち上げ、PTO軸、ジョイント及び入力軸がトラクタの中心線上にあるようにチェックチェーンを左右均等に張ってください。その後、左右のチェックチェーンのターンバックルを0.5～1.0回転くらい逆に戻してロックしてください。



2 左右水平の調整

本機を少し持ち上げ、左右水平になるようにトラクタの右側のリフトロッド長さで調整してください。

3 最上げ位置の規制

作業機を静かに持ち上げ、トラクタの一部に当たらないように、「上げ規制」が必要な場合があります。トラクタの取扱説明書に従い、上げ規制を行ってください。

4 バランスウエイトの装着

作業機を装着してトラクタの前輪が浮き上がるような場合はトラクタにフロントウエイトを装着して、前輪の浮き上がりを防止してください。

5 異音のチェック

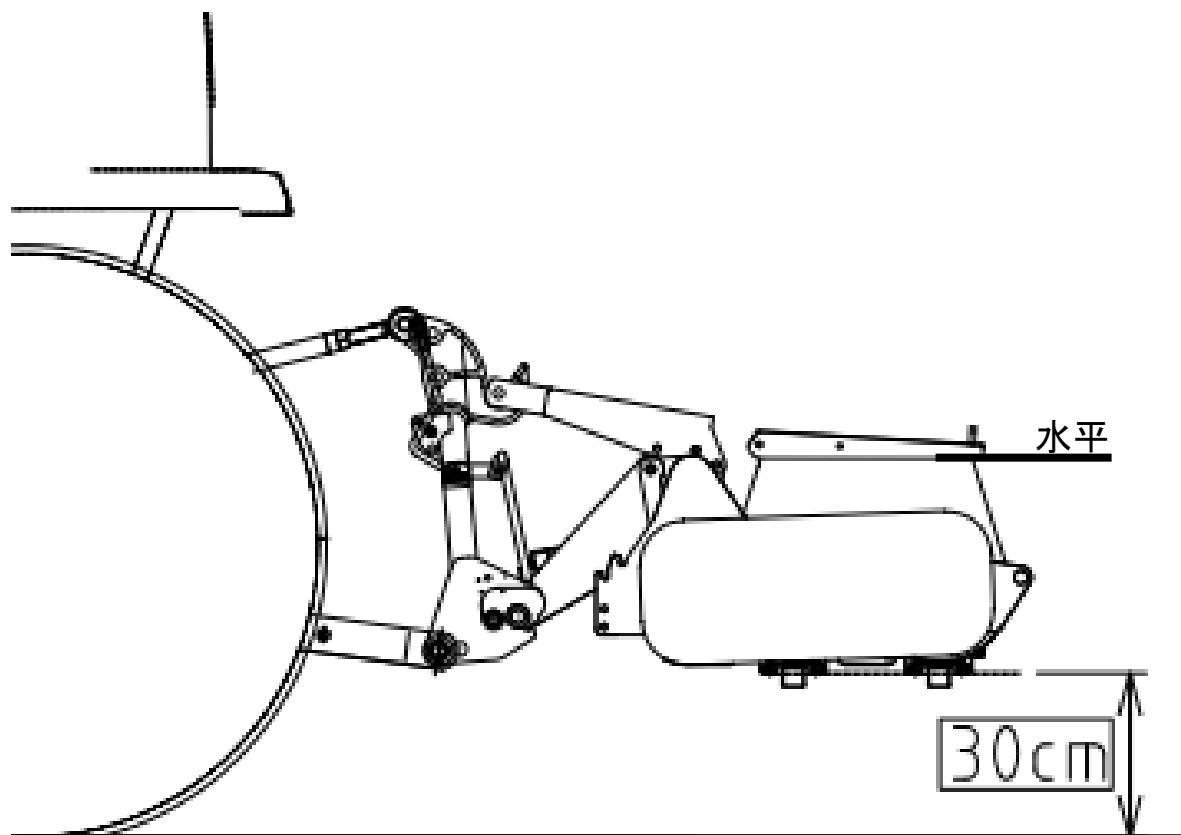
PTOを低速で回転させて、チェーンカバー内および動力伝達系統から異音がしていないことを確認してください。

! 注意

トラクタのエンジンをかけるときには、回りに人がいないことを確認してから行ってください。

6 本機の作業位置

本機は下図のようにシャッター下面が地上高約30cmになるように調整してから、タンク上部の傾きがほぼ水平になるようにトップリンク長さを調整してください。

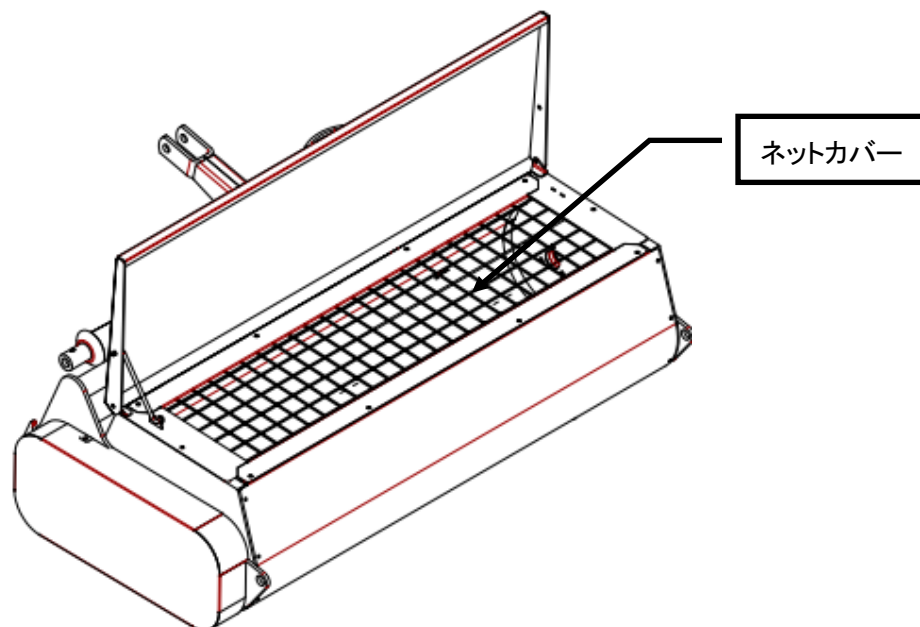


作業前の注意

ネットカバーは必ず取り付けして作業してください。掃除する場合、掃除口を開け、水洗いしてください。

⚠ 警告

ネットカバー(安全アミ)は絶対に外さないでください。外すとアジテータに巻込まれてケガをする恐れがあります。



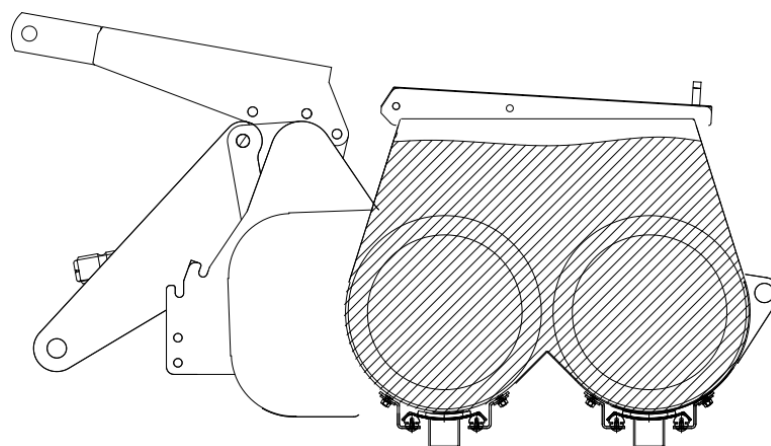
※肥料を混合する場合はアジテータ上面より少ない量で行ってください。

アジテータ上面より多いとタンクより溢れる場合があります。

⚠ 注意

ネットカバーより上面に溢れた場合は、十分な肥料混合がされません。

投入量は、必ずネットより出ない量にして作業してください。



◆比重の重い肥料について

ヨウリンや、その他比重の重い肥料はアジテータの負荷が大きくシャーボルトが切れ易くなります。そのような場合はトラクタ PTO を止めてアジテータを駆動しないで散布するか、タンクに入れる肥料を少なくしてください。

◆肥料投入量の確認

肥料の投入は、必ず本機の最大積載量 “200kg” 以下であることを確認してください。
(市販の袋詰め肥料20kg を10袋までを目安に投入してください)

▲ 注意

本機の最大積載量を超えた状態での混合・散布作業は、アジテータ駆動部に負担が大きく、機械故障の原因になります。十分に確認の上、肥料を入れて下さい。

◆シャッター開度の確認

リモコンシャッターの開度が「0」の時にミキシングソワーのシャッターが完全に閉じている事を確認してください。

◆ヒューズの点検

電源コネクタを接続しても受信機にランプがつかない場合は、ヒューズを確認してください。

ヒューズが切れている場合は交換して下さい。

(ブレードヒューズ30A;メイン電源保護ヒューズ)

◆移動、作業時の注意事項

- ① 本機を装着すると、前後バランスが変わりますので、周りに注意をして走行して下さい。
- ② 急発進、急旋回、急停止はバランスを崩して転倒する原因になります。絶対にしないで下さい。
- ③ 圃場への出入り、路肩走行には十分気を付けてください。
- ④ 運転者が運転席を離れる時は、トラクタのエンジンを停止して下さい。
- ⑤ 補助作業者がいる場合は、補助作業者の位置に十分注意して下さい。機械の側に近づけないように注意して下さい。また、散布作業中には機械に近づかないように補助作業者に教えて下さい。
- ⑥ 作業員以外の人を近づけないで下さい。

作業方法

◆混合作業

- ① 油圧操作で作業機を下げてください。
- ② トラクタのエンジンを停止し、シャッターが閉じている事を確認してから、ホッパーのフタを開け、ホッパーに散布物を入れてください。

※混合時は、上下の層にして比重の軽い肥料を下側にすると早く混合できます。

- ③ 散布物を適量入れ終わったら、トラクタのエンジンを掛け作業機を油圧操作で作業位置までゆっくり持ち上げてください。エンジン回転数はあまり上げないでください。
- ④ PTOラッチを「ON」に入れてください。アジテータが回転を始めます。
- ⑤ アジテータが回り始めたら、エンジン回転数を徐々に上げてください。
- ⑥ 混合に要する時間は目安として次の通りです。

- ・ 粒 状 X 粒 状 約2分 ◎
- ・ 粒 状 X 砂 状 肥料による △
- ・ 粒 状 X 粉 状 肥料による △
- ・ 有機肥料 X 粒 状 約2分 ○
- ・ 有機肥料 X 砂 状 肥料による △
- ・ 有機肥料 X 粉 状 約2分 ○

◎:最も適する
○:適する
△:難しい

- ⑦ 混合が終わったら、PTOのクラッチを中立にし、アジテータの回転を一度止めてください。フタを閉めて散布作業に入ります。

▲注意

- ◆ タンクに散布物を入れる時は、トラクタのエンジンを停止させ、アジテータを絶対回転させないでください。守らないと、万が一動き出した場合死傷事故につながるおそれがあります。
- ◆ 散布物は散布対象の圃場で作業直前にホッパーに入れてください。ホッパーに散布物を入れたまま長時間路上走行すると、振動によって散布物が固まり、機械故障の原因になる事があります。
- ◆ 周りに人・家畜がない事を確認してから作業を開始してください。特に子供、老人は近づけないでください。
- ◆ ネットホッパーより上面に溢れた場合は、十分な肥料混合がされません。投入量は、必ずネットより出ない量にして作業してください。

▲危険

- ◆ アジテータが回転している時は、絶対に手や衣服の端を入れないでください。アジテータはゆっくり回転していますが、トルクが強く、巻込まれると取り外すのが困難で、大変危険です。
- ◆ 守らないと、アジテータに巻込まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

警告

- ◆ エンジン回転数の急激な上昇は慎んでください。機械に損傷を与える場合があります。
- ◆ 異音が発生した場合は、直ちにアジテータの回転を止め、トラクタのエンジンを止めてください。その後で、原因を取除いてください。

◆ 散布作業

- ① 圃場内の散布開始位置に移動して下さい。
- ② 散布量に合わせてリモコンシャッターを設定してください。
- ③ 油圧操作でミキシングソワーを作業位置にした後、リモコンシャッターの電源ランプが点灯している事を確認し、PTOのクラッチを入れて下さい。
- ④ エンジンの回転数を徐々に上げ、2000rpm～2500rpmの範囲まで上げて下さい。
- ⑤ リモコンの「出」スイッチの押して下さい。シャッターが開き始めます。リモコン表示部が“散布”が表示され、シャッターから肥料が出ます。
- ⑥ 散布作業速度は2～8[km/h]の範囲にしてください。
- ⑦ 作業中、異音等が発生した場合は、直ちに PTO クラッチを切り、エンジンを停止して作業を中止してください。原因を取り除き安全を確認してから作業を再開してください。
- ⑧ 散布工程が終わったら、リモコンの「止」スイッチを押して下さい。シャッターが閉じ、肥料散布が停止します。

警告

- ◆ 本機を装着すると前後のバランスが変わります。発進時、登坂時に前が浮き上がる場合には転倒などの事故を起こす恐れがありますので、フロントウエイトを装着してください。
- ◆ 作業中以外はPTOを切ってください。
- ◆ 作業中は本機に人を近づけないでください。特に子供には注意してください。
- ◆ 圃場から出る際にトラクタのフロント部が浮き上がる場合、転倒事故につながります。その場合はバックで出て、その後フロントウエイトを装着して作業してください。

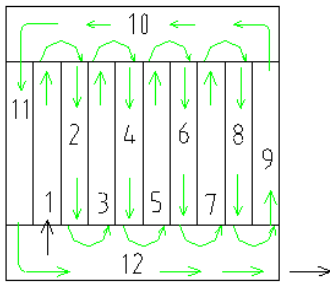
注意

- ◆ PTO回転数を540[rpm]以上に上げると、異常な振動の発生あるいは、本機の破損につながりますので絶対に上げないでください。
- ◆ タンク内に散布物を入れたままにしておくで散布物がタンク内で固まり作業が出来なくなる場合があります。
- ◆ PTOは散布する時のみ回転させてください。シャッターを閉じたまま PTO を長時間回転させると散布物が固まり、本機の破損につながる恐れがあります。
- ◆ ジョイントカバーは必ず装着してください。
- ◆ 移動時は、PTOクラッチを必ず切ってください。

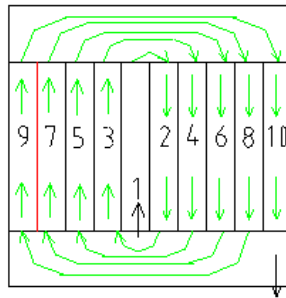
◆ 散布工程

主な散布方法を3つ上げましたので圃場条件に合わせてお選びください。

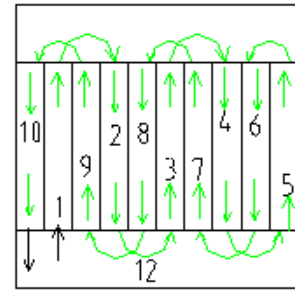
① 往復散布



② 回り散布



③ ひとつね置き散布



散布量の調節

○ シャッター開度目盛と散布量

下表は、リモコンシャッターのコントローラーにある散布量調整目盛(開度)の各開度における散布量を表したものです。(トラクタ車速4km/h、PTO回転数540rpmの場合)
※目安としてご利用ください。

■ シャッター開度目盛と散布量

シャッター開度目盛と散布量 kg/10a		車速4km/h PTO回転数540rpm																			
肥料の種類	散布巾 (m)	シャッター開度																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ケイフン (有機肥料)	1.3	0	0	0	0	0	0	22	28	55	99	154	217	341	365	506	608	611	613	706	
粒状物	1.3	0	0	0	29	84	178	270	478	632	890	開度「11」以上は、袋詰有機肥料(ケイフン等)用です。									
砂状物	1.3	0	0	19	87	191	400	504	711	1422	2132										
粉状物	1.3	0	0	0	109	359	622	734	983	983	1435										

有機ミキシングソーワ RMS (220L) ※上記は凡その目安としてご利用ください。

■ 散布量と車速の決め方

例) 10a当り、粒状化成を100kg散布したい場合

散布表より粉状物の項100kgより小さい値(84kg=開度5)のシャッター開度を設定します。

A: 散布表での車速 B: 散布設定量に対して散布表の中で一番近い量

C: 散布設定量

上記より、以下のように数値をいれて実際に作業する時の車速を決めます。

$$\text{車速} = \frac{A[\text{km/h}] \times B[\text{kg}]}{C[\text{kg}]} = \frac{4[\text{km/h}] \times 84[\text{kg}]}{100[\text{kg}]} = 3.4 [\text{km/h}]$$

したがって、開度5、車速3.4km/hにて作業すると、10a当り100kg散布できる事になります。

⚠ 注意

- ◆ 散布表は、あくまで目安です。散布物の性状によって大きく異なる場合があります。
- ◆ ミキシングソーワで、初めての散布物は、散布したい量の半分にシャッター開度を設定し、実際に散布作業を行なって散布量の確認をしてください。

保守管理と点検

⚠ 注意

点検・水洗い時はトラクタのエンジンを停止してください。

1. 作業シーズン中の保守管理

- ① 作業終了後は本機をよく清掃し各箇所に給油をしてください。
- ② 各部のボルト・ナット類の緩み、ピン類の脱落がないか点検してください。

2. 作業シーズン終了後の保守管理

- ① 各部の清掃を完全に行い、特にシャッター周りの分解清掃をしてください。
- ② 各部を点検し、損傷した部分があれば早めに修理又は部品交換してください。
- ③ 格納するときはスタンドを立て湿気やホコリのない場所に安定させて格納してください。
- ④ 電装品(コントローラ等)については、湿気のない所に別途保管してください。




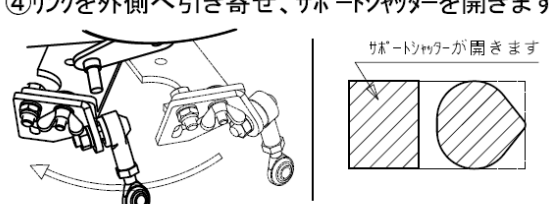
○ホッパー内の掃除・洗浄

タンク内の底に残った散布物はシャッターを全開、アジテータを回して取り出してください。取り出しきれない場合は、トラクタのエンジンを停止させて、水洗いをして残量を取り出してください。

掃除サポートシャッターの取り扱い

○ホッパー内の洗浄の際は操作ラベルに従って、“サポートシャッター”を開くと、開口部が大きくなり、排出・洗浄がしやすくなります。

掃除サポートシャッターの使い方

<p>①シャッターを全開位置(開度20)にし、開きます。</p>  <p style="text-align: center;">散布量調整</p> <p style="text-align: center;">シャッターを全開にする。</p>	<p>③リンクプレートのフォウナットを緩め、90°回転させます。</p>  <p style="text-align: center;">フォウナットを緩める</p>
<p>②リモコン本体からシャッターロッドを外します。</p>  <p style="text-align: center;">シャッターロッドを反転します。</p>	<p>④リンクを外側へ引き寄せ、サポートシャッターを開きます。</p>  <p style="text-align: center;">サポートシャッターが開きます</p>

A9K-052100-0

○駆動部の点検

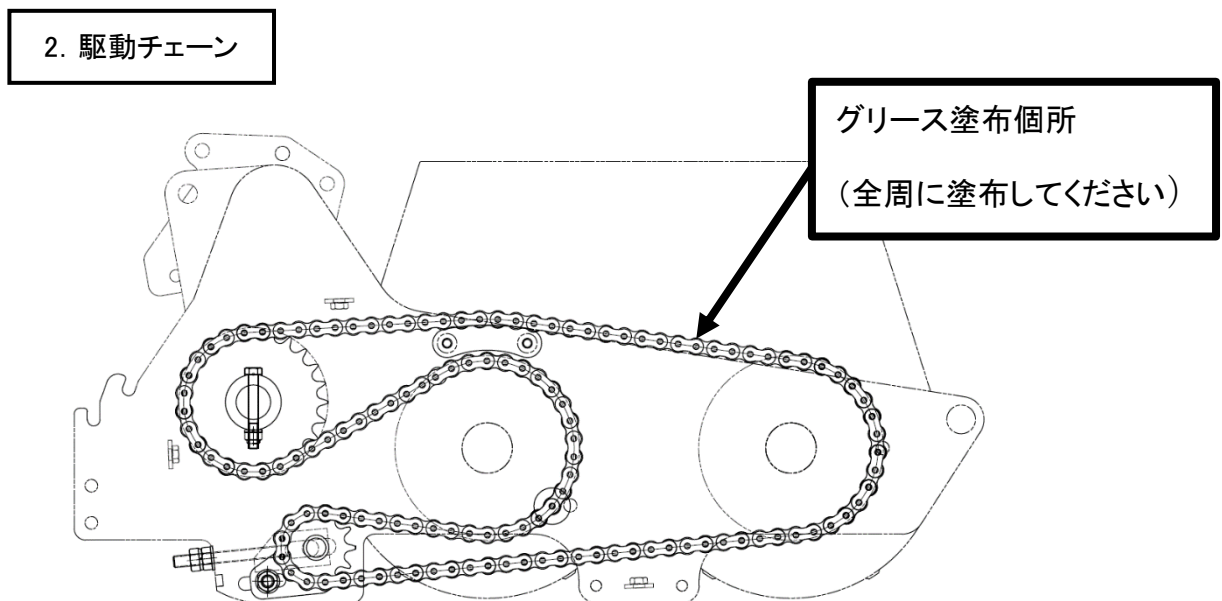
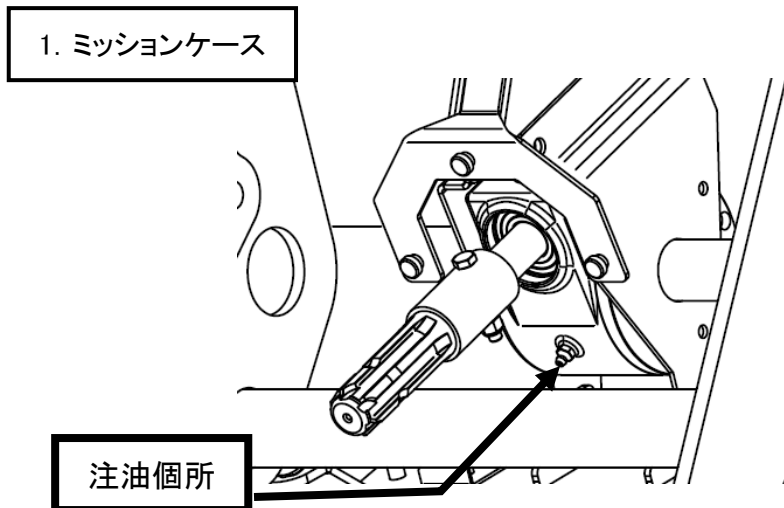
⚠ 注意

点検・調整時には必ずエンジンを停止してください。守らないとケガをする恐れがあります。

- ① 作業前にボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないことを確認してください。
- ② 給油の点検

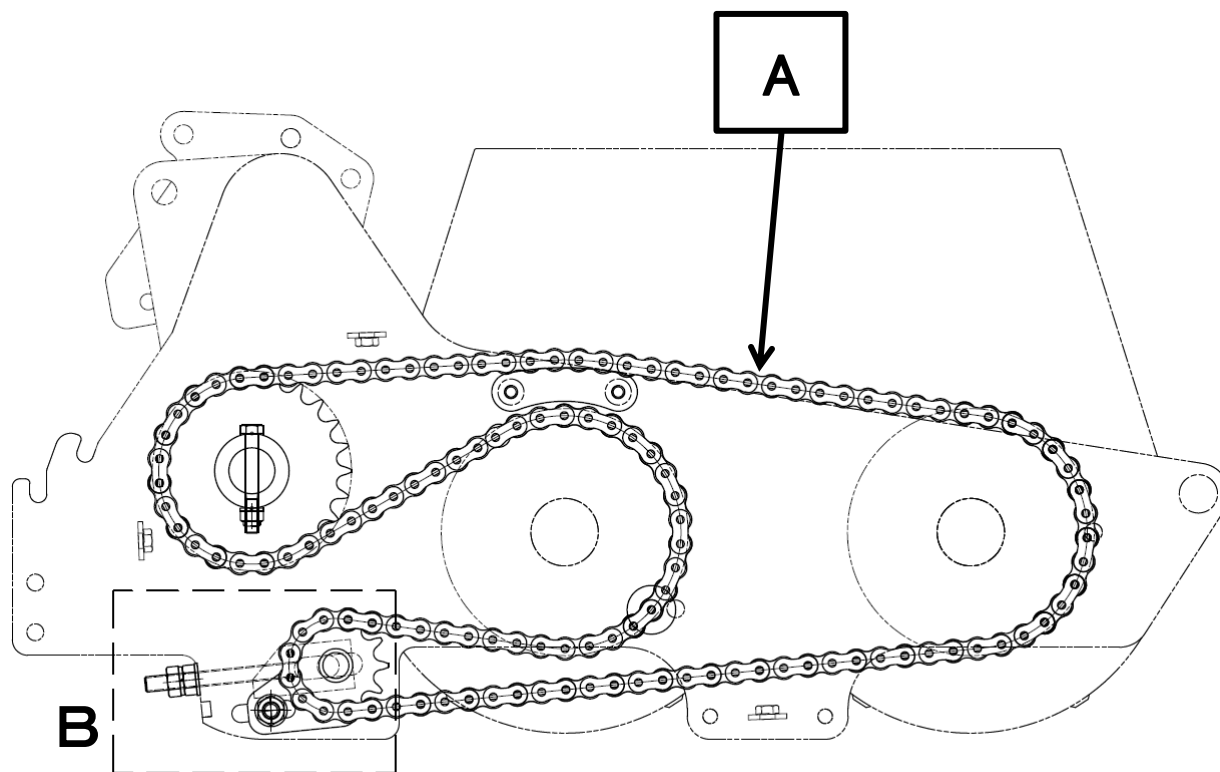
本機は工場出荷時に給油して出荷されますが、下表に基づいて給油を行ってください。

給油箇所	オイルの種類	給油時期	備考
1. ミッションケース	モリブデングリース	作業シーズン毎	適量 (全交換400g)
2. 駆動チェーン	グリース	作業シーズン毎	適量

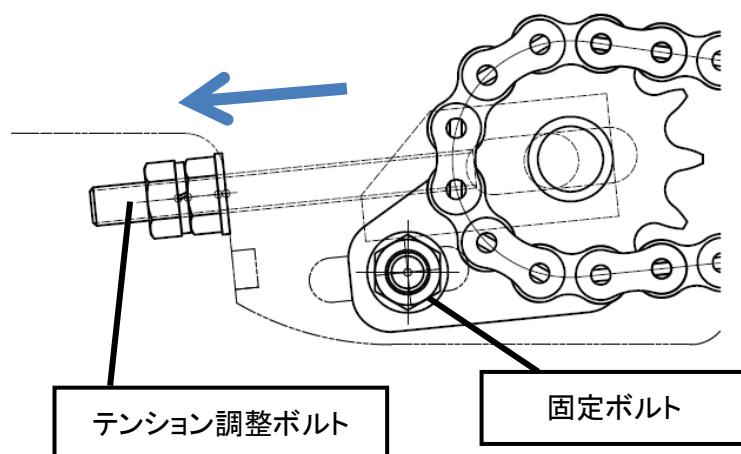


◆ 駆動チェーンの張り調整

チェーンを張る場合は、B個所の固定ボルトを緩めてからテンション調整ボルトを矢印方向に動かしてください。A個所のたわみが5mm以内になるように調整してください。



B 部詳細



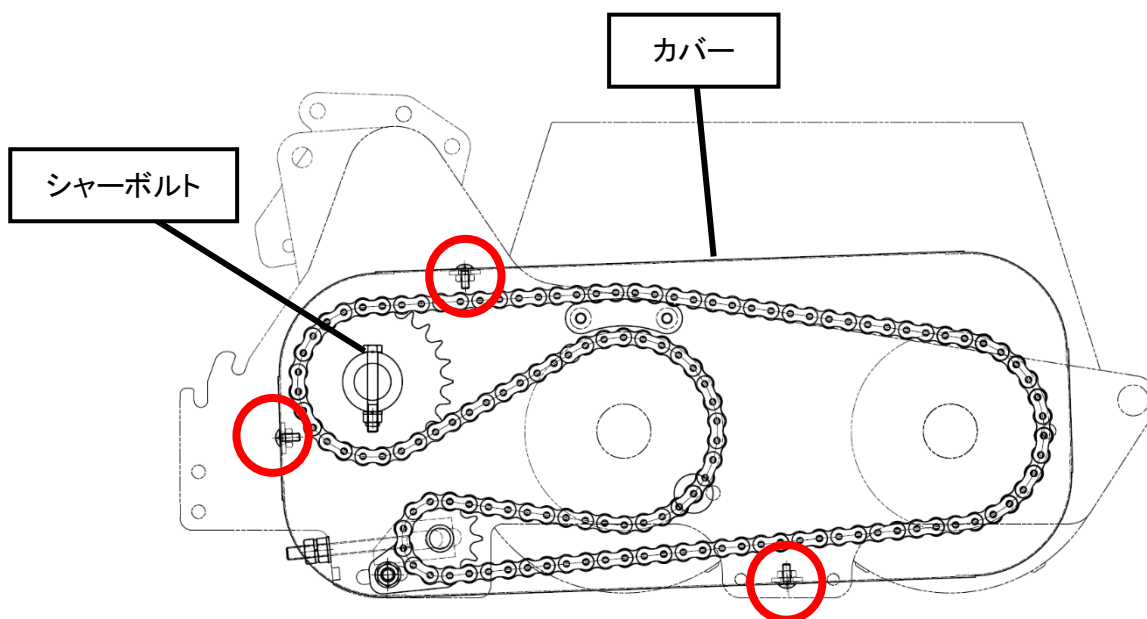
○シャーボルトの交換

※ タンク内に異物が入った場合や、ヨウリンなどの比重の大きい思い散布物等はシャーボルトが切れアジテータが停止する場合があります。

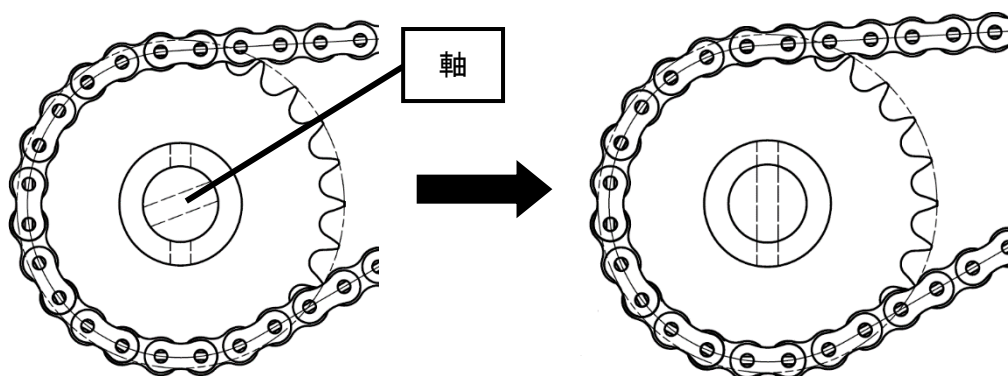
▲注意

シャーボルトの取り付けは、平坦で硬い地盤のところで、トラクタのパーキングブレーキを入れて行ってください。守らないと機械が動いたりして事故につながるおそれがあります。

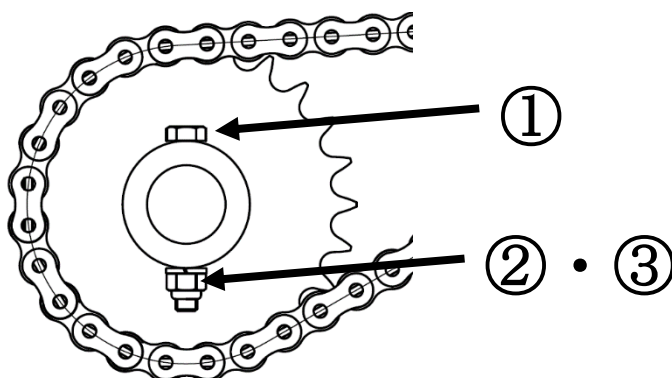
1. PTOが回転しているのにアジテータが回転しない場合、PTOを停止し作業機を油圧操作で降ろしトラクタのエンジンを停止してください。
2. カバーを外して下さい(十字穴ビス3箇所を外して下さい)。



3. カバーの内にスプロケットがあります。切れたシャーボルトの残りを取ってください。
注意)スプロケットとチェーンの間に指を挟まれないように注意してください。
4. スプロケットの穴と軸の穴を合わせてください。
手でジョイントを軽く回し軸を回転させスプロケットの穴と軸の穴を合わせます。



5. 新しいシャーボルトを入れ、ナット、バネザガネで固定してください。軸の中に切断されたシャーボルトの断片が入っている場合があります。ボルトの頭を軽くたたいて押し出してください。



不足した場合には、純正部品を購入してください(下表参照)。

■ ササキ純正部品

番号	部品番号	部品名称	規格
1	A9K-215200-0	シャーボルト	M8x65 SUS
2	01702-08000	バネザガネ	M8
3	02552-50080	ナット	M8

シャーボルトの取り付けが終わったら切断された原因を取除いてください。

※原因は以下の項目が考えられます。

1. ヨウリンなどの重い散布物では負荷が大きくなりシャーボルトが切れやすくなります。タンクに入れる量を少なくするか、アジテータを回転させないで散布してください。
2. 肥料に石・木材などが混じってシャッター口とアジテータの間に挟まっている場合があります。
3. チェーンとスプロケットの間に異物が挟まっている場合があります。

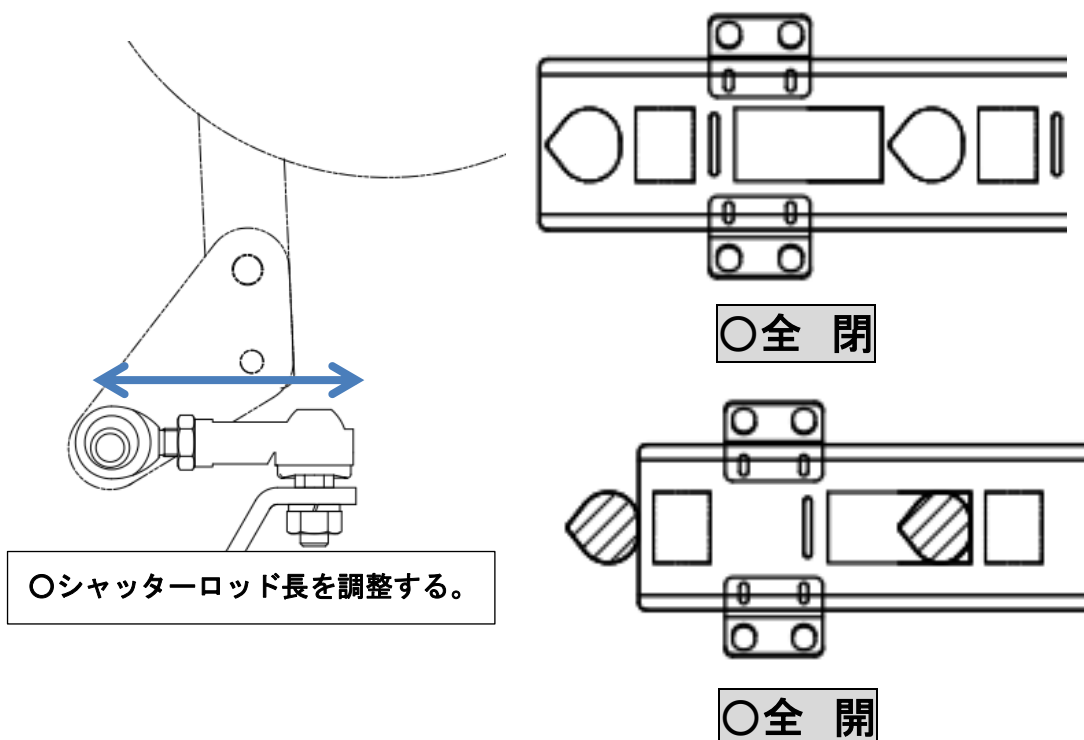
○シャッターの点検

「電動リモコンシャッターの取り扱い」の項を参照しシャッターの開閉位置を確認してください。

※「全閉」の時 : シャッターが完全に閉じている事

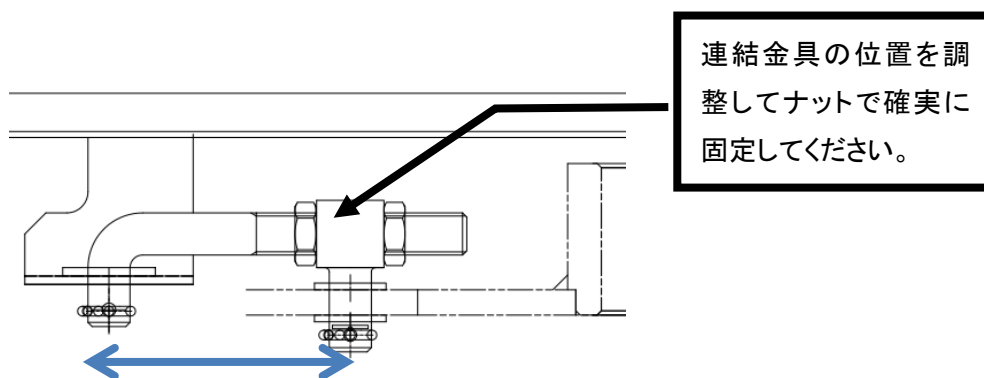
※「全開」(開度20)の時 : シャッターが完全に開いている事

全開・全閉にならない場合はリモコンシャッター本体下部のシャッターロッド長を調整してください。



◎前・後シャッターの開き量が違う場合

前・後の開き量をシャッター下部の連結金具の位置で調整してください。



灯火器について

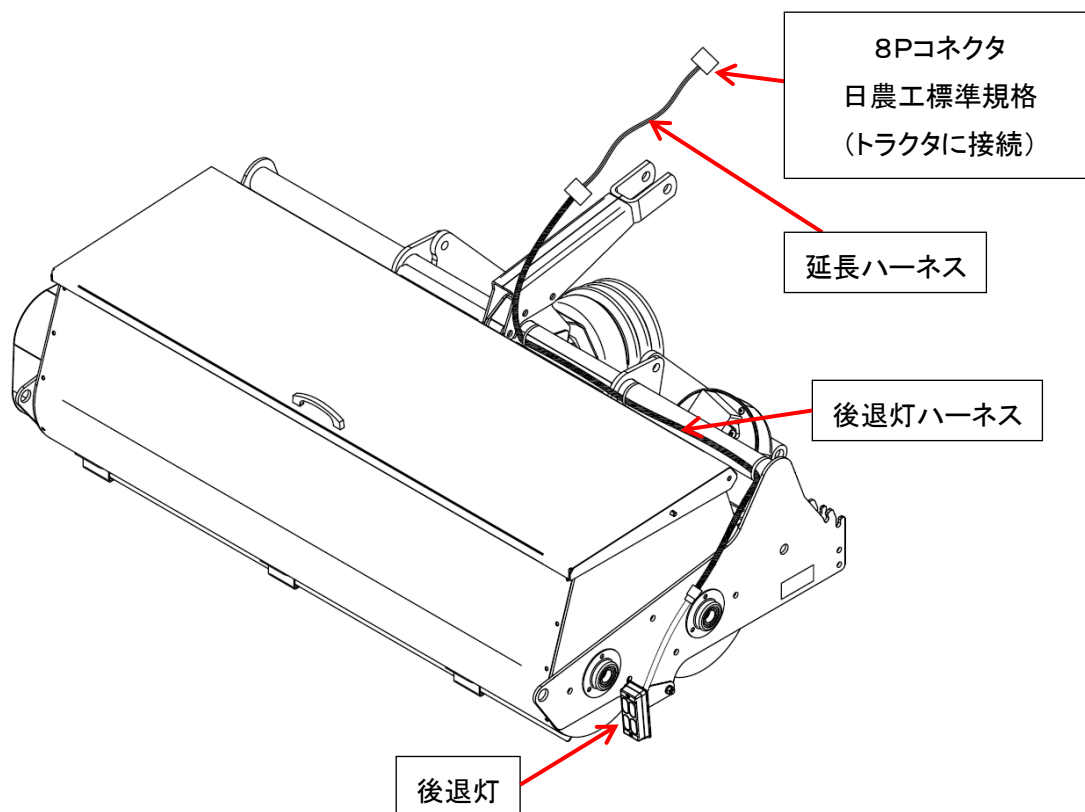
本機への配線は、トラクタへ本機を装着してから行ってください。

警告

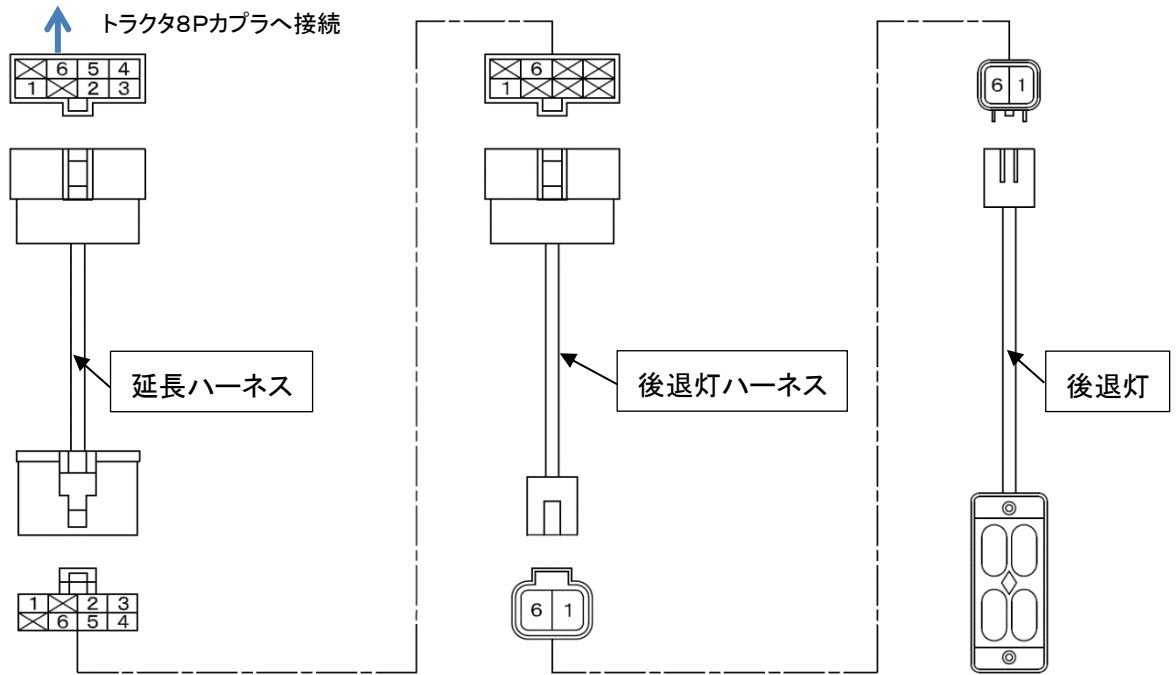
- ◆ 配線は取扱説明書をよく読んでから行ってください。
- ◆ コネクタは確実に接続し、水で濡らさないようにしてください。ショートするおそれがあります。

重要

- 本機には後退灯が装備されています。
- ハーネスの取り外しの際は、コネクタ接続部の土や汚れ、肥料はきれいにふき取り、水分はエアブローをかけるなどをして、濡れたままにしないでください。破損の原因になります。
- 長時間使用しないときはトラクタから延長ハーネスを外してください。バッテリーがあがる可能性があります。また、ハーネスの端子がさびないように湿気のない場所で保管してください。
- トラクタ側のコネクタが日農工標準規格であることを確認してから接続してください。
- トラクタのコネクタが日農工標準規格ではない場合はトラクタメーカー販売店にお問い合わせください。
- ハーネスを配索し直す場合、必ず元の位置に固定してください。
- トラクタから作業機を外す際は、延長ハーネスと後退灯ハーネスの接続コネクタをはずし、延長コネクタはトラクタの中に格納してください。



灯火器配線図



延長ハーネス		
1	白	接地
2	黄	方向指示灯(左)
3	赤	制動灯
4	緑	方向指示灯(右)
5	黒	尾灯
6	茶	後退灯

※日農工標準規格

後退灯ハーネス		
1	白	接地
6	茶	後退灯

後退灯		
1	白	接地
6	黒	後退灯

トラブルの原因と処理方法

現象	原因	処置
作業中ジョイントから音が出る	ジョイント角度が 15° 以上ついている	作業機を水平に取り付ける
持ち上げ時入力軸を破損する	ジョイントが長過ぎる	ジョイントを適正な長さに切断する
作業中作業機が大きく振動する	ロワリンクのチェックチェーンが緩い	チェックチェーンを左右均等に張り直す
ジョイント取り付けのセットボルトが折損する	セットボルトを確実に締め付けていない。異物が混入している。	確実に締め付ける 異物を取除く
後退灯が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・コードの接続不良 ・ランプの破損 ・バッテリー劣化による電圧低下 ・本機およびトラクタの配線間違い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント部の確認 ・部品交換 ・バッテリー電圧の確認(12V)、充電、交換 ・配線の確認

※リモコンシャッターが動作不良の場合には、リモコン表示部内容を確認し、「表示内容と処置」項を参照して、表示内容に応じた処置を行ってください。

主要諸元

型式	容量	最大積載量	散布幅	作業速度	全長	全幅	全高	重量	適応馬力
RMS204D	220 リットル	200kg	1.3m	2~6 Km/h	1020mm	1490mm	685mm	164kg 174kg 184kg	20~30PS
RMS204D-0S					995mm		580mm		
RMS204D-3S									
RMS204D-4S									

◎本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●電動リモコンシャッター部

無線装置	総務省技術適合基準取得品使用
電波仕様	周波数：2.4GHz帯域
	通信方式：双方向通信（リモコンと受信機1対1のみ動作）
	最大出力：1mW以下
	電波到達距離：障害物なし見通し約15m
リモコン電池	電波環境悪化時：通信遮断で動作停止（作業機の陰、トラクタ前の陰）
	使用電池：単三2本（アルカリ電池推奨） 電池寿命：連続使用で約20時間（電源ランプ点滅時：電池量警告） ※電池の種類や能力によって異なります
	電池交換時期：電池量警告時
受信機電源	バッテリー12V（トラクターバッテリー直結取り出し）
	過電流保護機構：電源ハーネス内ヒューズ（自動車用ヒューズ30アンペア）

付属品

本機と別に下記の付属品が同梱されていますので、ご確認ください。

部品番号	部品名称	規格	個数	備考
A9K-215200-0	ボルト	M8x65 SUS	4	シャーボルト予備
0170208000	バネザガネ	M8	4	シャーボルト予備
0255250080	ナット	M8	4	シャーボルト予備

購入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

型式 _____

シリアル番号 _____



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
製品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
新潟営業所 / 〒954-0051	新潟県見附市本所1丁目14番17号	TEL 0258-61-1810	FAX 0258-62-3160
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

2112-A9K7521000